

## 平成 29 年 6 月、大分県立竹田高等学校に チャレンジ講座の遠隔配信器機が設置されました。

大分大学は、高等学校と大学の「距離の壁」を克服するため、県内の高校に遠隔配信設備を設置し、2009 年度より高校生向けの特別授業「チャレンジ講座」の生中継を開始しました。本講座の目的は、大学で学問を学ぶ楽しさを高校生に伝えることで、進路選択の道標を提供することです。本講座には「同時双方向型」という特徴があります。すなわち大学教員は授業中に遠隔地の高校生を指名し、他方、高校生から質問を受けることも可能です。さらに中継を受ける高校間でも同時意見交換ができます。



設備設置高校数は当初 2 高校でしたが、ご希望に応じて増加し、2016 年度末には 12 高校となっています。

さらに、2017 年 6 月、大分県立竹田高等学校に遠隔配信機器を設置しました。これで、県内の



13 の高等学校に遠隔配信器機が設置され、早速、6 月 7 日(水)の第 2 回文系チャレンジ講座の授業に 7 名の竹田高校生が参加しました。

今回は福祉健康科学部の廣野俊輔先生による「障がい者福祉への招待」をテーマに 60 分、授業がおこなわれました。

会場は視聴覚教室で、大型のスクリーンに大分大学から配信された映像が映し出されました。同時に他校の受講生のように分割画面で映し出され、日頃、他校の高校生と同時に授業を受けることがない生徒のみなさんは画面を食い入るように見つめていました。

竹田高校のみなさんは、「他校の高校生と同時に授業ができて楽しかった」「他校の生徒の発言を聞くことができ、自分と異なる見方をしていることに驚いた」「廣野先生の解りやすい授業にいつの間にか吸い込まれ、有意義な時間をいただきました」など、初のチャレンジ講座の受講体験は竹田高校生の大学の授業への強い期待と興味の深さを掘り下げ広げる機会になったようです。

